本校の学校経営　　学校教育目標具現化のための全体構造

＜公教育の目的＞
○日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領
○北海道教育目標
○上川管内教育推進の重点
○当麻町教育行政方針

＜学校教育目標＞
夢と愛をもち　未来にはばたく子ども
やさしく　かしこく　たくましく

＜地域・学校の特性＞
○学校への支援と理解・安全等への配慮・多様な教育環境
○質の高い校内研修・地域と共にある学校

＜児童の実態＞
○明朗快活・責任感・発表力・活動意欲が長所
○主体性・粘り強さ・気配り・挨拶に課題

＜保護者の願い＞
○思いやり・心身の健康・不撓不屈・生命尊重・公正公平等

＜経営の基本方針＞
①学校経営の基本に「子ども」を据え，常に子どもの側に立って教育活動の立案・実践・改善にあたる。
②学校教育目標の実現を目指して，学年・分掌の組織的な取組と本校の特色を活かした教育活動を，長期的な展望をもち，全教職員で推進していく。
③「やさしく」「かしこく」「たくましく」の調和の取れた子どもの育成を目指し，課題を明確にして具体的な取組を進める等改善しながら進めていく。
④学校・家庭・地域がそれぞれの役割を明確にし，相互に連携・協力しながら，お互いの教育機能を十分に発揮して子どもの育成を図っていく「地域の学校づくり」を目指す。
⑤学校は公教育の場であり，常に教育公務員としての使命感をもって職務にあたる。
⑥今日的な課題への対応や緊急の課題解決に向けて，教職員が一丸となって意欲的に取り組む気鋭に満ちた学校をつくる。

＜年度重点目標＞
やる気！根気！
～何にでも挑戦，そして最後まで～

＜めざす子ども像＞
○愛を育むやさしい子ども
○夢を抱くかしこい子ども
○翔く力を培うたくましい子ども

＜令和２年度　経営の重点＞
①ねらいの明確化と組織的対応
・学校教育目標や学校評価，分掌や学年での話し合いを通して，ねらいを明確にする。
・ねらいを達成するための活動や組織を工夫し，共通理解のもと取り組む。
・学校評価を工夫し，課題の明確化と改善のサイクルを確立していく。ねらいを明確にし，子どもや家庭地域の理解をえながら，活動の改善を行う。
②教育課程の改善と充実
・令和２年度の教育活動を通して，地域教材や体験的な活動の精選と充実を進める。
・総合的な学習の時間のねらいを明確にし，当麻小ならではの，教育活動を立案していく。
・生活科（幼保との連携）社会科（各種大会）等で培った単元構成や活動を継続できる形に昇華していく。
③家庭や地域等との連携の推進
・学校運営協議会の活動を通して，当麻小学校の教育活動と今後の方向性や課題の周知と理解を図る。
・家庭の教育力の低下や不登校等への対応として，関係機関と保護者の仲立ちを勤め，連携した取組を推進していく。
・PTA活動や社会教育との連続性を意識し，学校教育活動のスリム化を試行していく。
④長期的展望にたつ計画の作成と推進
・ICTを活用した学習活動のあり方を明確にし，機器や設備の整備を計画的に進める。
・学級減と学級児童数増に対応した校舎や設備の改善や校務組織の見直しを進める。
・当麻町の支援教育のあり方を検討していく。

＜目指す教師像＞
○教職員が一丸となり，子どもと共に笑顔で活動する学校に
○子どものよい話題であふれる職員室に
○子どもの未来を考え，子どものために動き出す教師に
○やる時はやる，楽しむ時は楽しむ仲間に

＜目指す学校像＞
○子どもにとって楽しく潤いのある学校
○教師にとって感動のある学校
○保護者にとって信頼できる学校
○地域にとってともに歩める学校

＜研究主題＞
できるよろこびを感じながら
学び続ける子の育成
～主体的な学習を
支える指導の工夫～

＜連携の重視＞
○幼稚園・保育園・中学校
○社会教育施設
○学校運営協議会　等

＜重点的に指導の取り組む領域＞

①「キャリア教育」
「たくましく」分野の「乗り越える」を子どもに実感させるために，重視していく。担当を置き，重点を置く全校で取り組む実践と，学級経営の方針として盛りこんでいく。
（適切なめあて，教師や友だちの支援，肯定的他者評価，自己評価の場）
②「ICT，情報教育」の分野（名称検討中）
機器を活用した授業のあり方を明確にし，必要な機材や設備の整備計画を作成する。また，現在ある機器設備を活用した学習やプログラミング教育等の実践を進めていく。GIGAスクール構想に対応し，中学校や教育委員会と一体化した取組を進めていく。
③「支援教育」
特別支援学級在籍児童，通常学級在籍で配慮が必要な児童，不登校傾向児童への対応に重点を置く。学校としてどのような対応ができるか，どのような組織であたればよいのか，外部機関との連携を試行から学校としてのスキルへ高めていく。
＊他の指導領域については，継続的な指導と内容の改善を進めていく。

＜カリキュラムマネジメント＞
計画　（共有）
↓
実践　（個性）
↓
評価　（客観）
↓
改善　（迅速）